



かっぱ通信

みんなと
川を結ぶ情報誌

Vol.72

2022年10月

発行：奈良県水循環・森林・景観環境部
編集：水資源政策課 水循環政策係
TEL:0742-27-8489 (直通)

～水は「循環しています」～森林の役割～

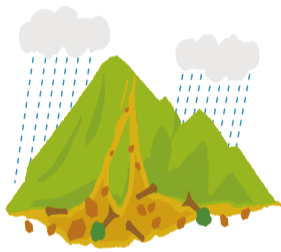
みんなが普段使っている
水が無くなるのは、右
の図のように地球上の水が
さまざまなかたちで「循環」
しているからです。

今回は、わたしたちに癒
やしを与えてくれる森林の
役割について紹介します。



① 災害を防ぐ

森林には木の根がはりめぐらされてい
て、しっかりと土をつかんでいるため、
山くずれなどがおきにくくなります。



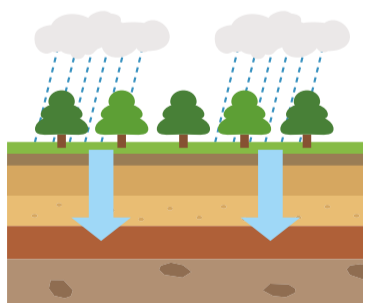
② 水をたくわえる

土が雨水をたくわえ、雨水は地下水
となって少しずつ川に流れ出るため、
洪水を防ぎます。



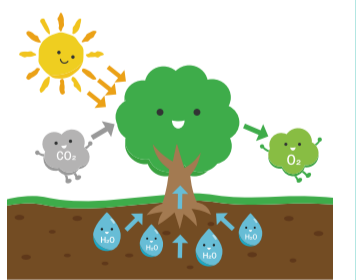
③ きれいでおいしい水を作る

土の中を雨水がゆっくりと移動
する間に、雨水に含まれる有害な
物質が取り除かれ、かわりにミネ
ラル分が多く含まれた、きれいで
おいしい水が作られます。



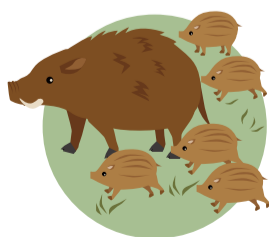
④ 酸素を作り、空気をきれいにする

樹木などの植物は、大気中から二酸
化炭素を吸収し、土から吸収した水を
使い、太陽の光で光合成を行いながら
成長します。その時に、人や動物が生
きるために必要な酸素を作ります。



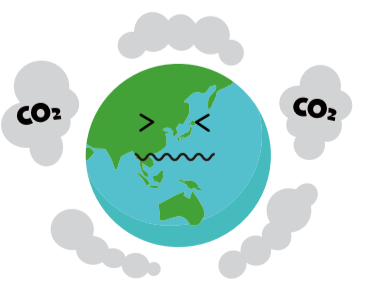
⑤ 鳥や動物たちのすみかになる

森林には、さまざまな種類の木や草が
生えています。また、クマ、シカなどの
動物や鳥、昆虫、地面の下に隠れている
生き物など、多くの生き物のすみかとな
っています。



⑥ 地球温暖化を防ぐ

樹木などの植物は、大気中から
二酸化炭素を吸収しながら成長す
ることで、地球温暖化の防止にも
役立っています。



クイズ

洪水や濁水を防ぐ方法として有効なものは次のうちどれ？

- ア. ダムをつくる
- イ. 道路をつくる
- ウ. お花を植える

答えは裏にあるよ！

川の学校(リバーウォッチング)レポート

今年(ことし)は5～10月に県内各小学校でリバーウォッチングをしています。今回は1番目(ごんかい)にリバーウォッチングをした小学校(しょうがっこう)の結果(けっか)を紹介(しょうかい)します。

令和4年(れいわねん)5月(がつ)17日(にち)に五條市(ごじょうし)立五條南(りつごじょうなん)小学校(しょうがっこう)が、近く(ちか)を流(なが)れている吉野川(よしのがわ)でリバーウォッチング(りばーうおっちんぐ)をしました。

はじめ(はじめ)に、県環境(けんかんきょう)アドバイザー(あだいざー)である谷幸三先生(たにこうぞうせんせい)から、川(かわ)の環境(かんきょう)の説明(せつめい)や、水辺(みずべ)にすむ生き物(いきもの)の探し方(さがしかた)などについてお話(はなし)を聞(き)きました。その後(あと)、いよいよ川(かわ)に入(はい)ってリバーウォッチング(りばーうおっちんぐ)のはじまり(はじめ)です。ザル(ざる)を使(つか)って石(いし)の下(した)や草(くさ)の根元(ねもと)など、いろん(いろん)なところ(ところ)を探(さが)して水生生物(すいせいせいぶつ)を観(かん)察(さつ)しました。

リバーウォッチング(りばーうおっちんぐ)の結果(けっか)、ややきれい(ややきれい)な水(みず)にすむ生き物(いきもの)が一番(いちばん)多(おほ)かったこと(こと)から、吉野川(よしのがわ)は「ややきれい(ややきれい)な水(みず)」だとわ(わ)かりました(ました)！

水質(すいしつ)	見つけた生き物(みつけたいきもの)	種(しゅ)
きれいな水(きれいなみず)に棲(す)む生物(せいぶつ)	ヤマトフタツメカワゲラ	1
ややきれい(ややきれい)な水(みず)に棲(す)む生物(せいぶつ)	スジエビ、アメンボ、コオイムシ、ダビドサナエ、マシジミ、キイロカワカゲロウ、オオフタオカゲロウ、ハグロトンボ、ミナミヌマエビ	9
よごれた水(よごれたみず)に棲(す)む生物(せいぶつ)	—	0
とてもよごれた水(とてもよごれたみず)に棲(す)む生物(せいぶつ)	セスジユスリカ	1



「山」と「川」の学校～五感で楽しむ奈良の水めぐり旅～

レポート

第1弾 『川』に学び、『川』を楽しむ

開催日(かいさいび)：令和4年(れいわねん)7月(がつ)17日(にち) (日)
 場所(ばしょ)：国営飛鳥歴史公園(こくえいあすかれきしこうえん) 石舞台地区(いしぶたいちく) あすか風舞台・飛鳥川(あすかかぜぶたい・あすかがわ)
 参加者(さんかしゃ)：県内(けんない)在住(にゅうず)の小(こ)学生(がくせい)と保(ほ)護者(ご) 20名(めい)

県環境(けんかんきょう)アドバイザー(あだいざー)である谷幸三先生(たにこうぞうせんせい)のお話(はなし)を聞(き)いた後(あと)、飛鳥川(あすかがわ)でリバーウォッチング(りばーうおっちんぐ)をし、川(かわ)にすむ生き物(いきもの)を探(さが)しました。サワガニ(さわがに)やカワニナ(かわにな)がた(た)くさん見(み)つかり、捕(と)まえた水生生物(すいせいせいぶつ)の種(しゅ)類(るい)から、飛鳥川(あすかがわ)の水(みず)は「ややきれい(ややきれい)な水(みず)」だとわ(わ)かりました。普(た)段(だん)聞(き)けないよ(よ)うないろん(いろん)なお話(はなし)を聞(き)くこと(こと)がで(で)きました。アンケ(あ)ーと(と)では「川(かわ)で生き物(いきもの)を見(み)つけ(つけ)るの(の)が楽(たの)し(し)か(か)った」とご回(こ)答(た)があり、川(かわ)や生き物(いきもの)につ(つ)いて知(し)る良(よ)い機(き)会(かい)にな(な)りました！



第2弾 『山』を知り、『山』に癒やされる

開催日(かいさいび)：令和4年(れいわねん)8月(がつ)21日(にち) (日)
 場所(ばしょ)：森と水の源流館(もりとみずのげんりゅうかん) (川上村(かわかみむら))・宮滝河川交流センター(みやたきがわがわこうりゅうせんたー) (吉野町(よしのちょう))
 参加者(さんかしゃ)：県内(けんない)在住(にゅうず)の小(こ)学生(がくせい)と保(ほ)護者(ご) 15名(めい)

森と水の源流館(もりとみずのげんりゅうかん)では、様(さま)々(ざ)な展(てん)示(し)物(ぶつ)や映(えい)像(ざう)をもとに源流(げんりゅう)である森(もり)の大切(たいせつ)さを学(まな)びました。その後(あと)、宮滝河川交流センター(みやたきがわがわこうりゅうせんたー)へ移(うつ)動(どう)し、地(じ)元(もと)の吉野ヒノキ(よしのひのき)を使(つか)ったキャンドルホルダー(きゃんどうほるとー)作(つく)りを行(い)い、山(やま)の恵(めぐみ)を感じ(か)じました。雨(あめ)天(てん)のため森(もり)林(りん)セラピー(らーぴー)など野(の)外(がい)のイベ(い)ん(と)は中(ちゅう)止(し)にしま(しま)した(た)が、アンケ(あ)ーと(と)では「貴(き)重(じゆう)な体(たい)験(けん)がで(で)きた」とご回(こ)答(た)があり、山(やま)の大切(たいせつ)さを知(し)る良(よ)い機(き)会(かい)にな(な)りました！



クイズの
答えはAです

水資源政策課(みずしげんせいさく)では川(かわ)に関(かん)する様(さま)々(ざ)な取(と)り組(ぐみ) (水質学習(すいしつがくしゅう)や河川清掃(がわがわせいじょう)等(とう)) を応(おう)援(えん)します！

取(と)り組(ぐみ)んだ内(ない)容(よう)や写(しゃ)真(しん)など(とう)があれ(あ)ば、か(か)っば通(つう)信(しん)で紹(しょう)介(かい)します(す)ので、情(じょう)報(ほう)をお寄(よ)せくだ(くだ)さい。

また、「川(かわ)に関(かん)する学(がく)習(しゅう)を(を)してみたい！」とい(い)う小(こ)学(がく)校(こう)が(が)あれ(あ)ば、お手(て)伝(でん)い(い)します(す)！お気(き)軽(けい)にお問(もん)い合(あ)わ(わ)せくだ(くだ)さい。

奈良県水循環・森林・景観環境部 水資源政策課水循環政策係 TEL：0742-27-8489 (直通)

水資源政策課ホームページ：<https://www.pref.nara.jp/1637.htm>

